

江見地区意見交換会意見概要（参加者 52 名）江見地区の小学校適正配置について

○江見小は残してもらいたい。耐震補強もしてほしい。幼稚園、保育園も一緒にして残してほしい。なぜならば、年寄りがみんな孫を見ているので、通うのが精一杯だから。江見小が無くなると、地域が廃れてしまう。地元地域の発展のためにも、江見小を残してほしい。

○子どもが育つ中で、例えば大勢の中で育った子と、少人数の中で育った子でどういった違いが出てくるとか、少人数だときめ細かい教育ができるんだとか、大勢だとより競争力をもった強い子どもたちの心が育まれるとか、いろいろな面があるとは思いますが、子どもの数が少ないから学校を統合するというのは、余り自分としては納得できない。それならば、鴨川市として、子ども達をこのように育てていきたいとか、こういった子どもたちを地域として育てていきたい、その為にはこういった適正規模が必要なんだという環境的な問題を説明していただければわかりやすいのではないかと思います。

○地域の活性化などいろいろ関連してくる。現に大山小が無くなり寂しくなったら、地域から出ていった人もいと聞いている。学校もない、何もなければいけないと、そういうこともあるので、合併してもいいが、江見に持ってきてもらいたい。

○学童保育の可能性が高くなるので、案の4を希望する。現在、延長保育のある太海保育園に通っており、来年は学童保育を見据えて、西条か鴨川を検討し、移動せざるを得ない状態となっている。できれば江見地区に学童保育が出来てほしいので、統合して欲しい。

○少子化の関係でやむを得ないかと思っている。できれば小学校はこのままの状態、幼保は小学校に統合していろいろやっていただければいいのかと思う。今の人数からすると、保育園から小学校6年まで同じクラスとなり、やはり競争だなんだとなあなあになってしまう。どこかで共同で何かやるような格好にいただき、いろいろな力を発揮できるようにしていただくのが一番良いのかなという気がしている。

○資料にある学校のバス進入不可は大型バスなのか。小型バスだったら入れるのではないか。

○スクールバスの保護者負担はどうなっているか。過去の経緯もどうなっているか。

○平成 27 年度の開校を予定しているとの説明であったが、このときには学童は決定ということで意見もまとまっているのか。

○バス通学となる場合、子ども達はどこでバスを待つようになるのか。各バス停で待つのか、それともどこかに集まってバスに乗っていくのか。

○4案以外案を言ってもよいか。江見地区の江見小学校はそのまま、太海地区でも江見よりの子ども達は江見小に、曾呂よりの子ども達は旧江見中学校で曾呂と一緒にすることで、太海小が津波の危険性を回避できる。江見地区に2箇所の学校としてはどうか。

若い人たちにここに残ってもらえるようなまちづくり、若い人たちがもっと帰ってきたい

と思うようなまちづくり、今の高校生、大学生が地元に戻ってきて、子どもを育てていきたいと思うようなまちづくりをするためには、子ども達を安全に守っていきける、安全に教育していきける学校を作っていかなければならないと思う。

2箇所に分かれていれば、地域の方がだいたいどこの子かということも分かると思う。

江見地区の幼保一元化について

○バス通学に関して、前に江見中を統合した時にはバス代は無料となったが、何年か経ったら父兄はかなりの金額を負担するようになった。町ときはできたけど、市になったら学校がいっぱいだから出せなくなったと聞いている。今回は大丈夫なのか。また負担するようになるのか。

○旧江見中学校に幼保一元化した場合のバスについては、保育園の園児も一緒になるのか。

○幼保に関しては、案1を希望するが、この場合、小学校が出て行き、統合が実施されなければ実現できない話となる。もし、幼保一元化されたとして、希望が江見地区の場合、いつ頃に実行できると見込んでいるのか。

○案4で実施した場合と小学校と幼保が別々の学校を使って実施した場合のコスト差はどれくらい違うのか。

太海地区意見交換会意見概要（参加者 37 名）江見地区の小学校適正配置について

○3校同時に合併ということで話が進んでいるが、例えば1校だけ反対をしている、2校が賛成していますというような場合はどのように進めていくのか。

○児童数が16人未満だった場合には、必ず複式学級となるのか。例えば3学年合わせても10人くらいしかいなかった場合は、3学年で一緒になるのか。あくまでも2学年で複式となるのか。

例えば、5年生が20人、4年生が2人、3年生が18人だった場合は、2人でも1クラスにできるということか。

○先生もどんどん減らされているが、余った先生はどうなるのか。統合となると先生は余るのではないか。

○長狭地区は、数年前に統合しており、太海、江見地区の現状は、児童数が小学校3年生くらいから一桁となっている。そうすると、当然この地区でもそうした話が出てきているはずだと思うがどうなのか。

○長狭地区は統合できたが、この地区ではそうした話の実現できなかったとしたら、こういう世の中であるので、財政的な問題など、例えば3校の耐震をやるとなると膨大な費用がかかることが予想されるが、そういう面から、一番経費のかからない方法というものを市の方から強く押し出すしか統合の方法がないのではないか。皆が好き勝手なことを言っていたら、いつまでたってもまとまらないだろう。

○江見中学校を改修した場合、費用はどれくらいかかるのか。また、いつまでに完成するのか。平成27年度という話もあったが、最短で何年から一緒になるのか。

○江見小と太海小の耐震補強工事をした場合の費用はどのくらいか。

○もし統合となった場合、この太海小学校は解体となるのか、残るのかお聞きしたい。

江見地区の幼保一元化について

○第4案の場合、旧江見中跡地のどの辺につくる予定か。具体的に野球場の方とか駐輪場の方に建てるとか決まっているのか。

○これまで中学生が使っていたプールをそのまま引き継ぎ、幼稚園と保育園が使うということか。

○第4案に賛成であるが、言葉としてこういうところが良いというのを言って欲しい。私が思うには、バスの乗り入れができるのは大変な利点だと思う。そういったことや、ここに書

いていないこと、良い面がいろいろとあると思われるが、改めて第4案に至った利点を述べていただきたい。

全体を通しての意見

○統合に関して江見3地区の中で、今、反対している地区は出ているか。書面的なものがあるか。あがってきているというような話はあるのか。

○金額的なことを抜かせば第4案は良いように見える。金額以外のメリットからすれば、第4案がベストだというふうに見えるし、江見中を使った方が子ども達のためになるというのは分かるが、母校が無くなるというのはすごく寂しい。よく言われるのが、学校が無くなることで地域が衰退することであるが、今も衰退している状況とは思いますが、それに拍車がかかって、さらに活気がなくなっていくのかなというのが、ちょっとひっかかる。

曾呂地区意見交換会意見概要（参加者 36 名）江見地区の小学校適正配置について

○資料のうち、太海、江見、曾呂で鴨川小学校の方へ学童保育だとかそういったものでどのくらい人数が流れているのか。仮に、そういったものが無ければ、地元の小学校に行くと思うが、それを踏まえた人数でこれを出しているのか。それとも現在通っている人数で出しているのか聞きたい。

太海小の2年生については、幼稚園時代は10数人いたが、ほとんどが鴨川小学校の学童に流れて、2名になっている。このため1桁の人数となっている。

仮に、各小学校で学童保育を実施してくれれば、人数は変わってくるのではないか。

○もし、統合ではなく従来案となった場合、江見、太海は校舎の耐震補強、曾呂は体育館の耐震補強をやっていただけなのか。平成27年度までにクリアされるのか。

○既に統合した長狭学園があるが、実際に統合された時に何か問題があったとか、そういうことは今日聞けないのか。例えば、統合したことによって、児童が学校に行けなくなった例があるとか無いとか、成績が上がった上からないとか具体的な話が聞けるのではないかと思っていた。逆に統合したからすごいという話ならば、また統合に向かってというのもあると思うが、今日の資料は器の話が多い気がする。例えば、人数が少ないほうがもしかしたら教育を受けられるのではないかと考えてしまうので、そういう何か資料とかあれば知りたいと思う。

○示された案の中には予算のこととか全く出てこないが、3校そのまま存続させるのと、1校にまとめるのでどれくらい違いがあるのか。太海幼稚園が休園しているのは予算が無いからとも聞いているが、統合するのにどのくらい予算を見ていただいているのか。

あと、先生の数が減るといっても3つあったところが1つになったら、もっと減るが、そういったところはどのように考えているか教えてほしい。

○2人とも共働きなので祖父母に助けをもらいながら子どもを幼稚園に通わせている。幼稚園に通わせて良かったのは、小学校といつも一緒に、昼休みは校庭で一緒に遊んでもらい、幼稚園にいるのに小学生の名前を全員覚えていて、そういう状況を良かったと感じている。

この先、小学校にあがると少ない人数で複式学級になってしまうと聞いているが、複式になると自分の学年単独の勉強ができなくなったりとか、そういうことが自分の子どもにとってどうなのか心配に思う。だから、できれば統合して欲しいと思っている。

もし、統合になるとしたら何年度からなるのかお聞きしたい。

○案では江見中を改修となっているが、他の代替地で新たに造るという案はなかったか。城西国際大学の登ったところとかは車の通りも少なく、スクールバスで通うのであればいいところではないかと思うがどうか。

○やはり人数が少ないので、統合もやむなしとは感じている。しかし、長狭学園の知り合いの話などを聞くと、先ほど説明があった内容とは温度差がある意見も耳にしているので、子どもを預けている保護者の生の声をアンケートなどでちょっと聞きたい。大人数の良さはす

ごく分かるが、ただ、実際に預けてみてという保護者の生の声というのを知りたいと思う。

○各小学校を改修すると約1億から2億、江見中を改修すると4億。それでは、小学校の新校舎を江見中跡地の同じ場所に建てた場合は、何億かかるのか。

○先ほど、長狭学園の保護者の生の声を聞きたいという話があり、行政の方の思っているところや、保護者の声を吸い上げ、まとめたものを発言されたかもしれないが、私も全体的な生の声が聞けるのであれば、聞きたいと考えている。

私の息子が来年度から卒業するまでずっと複式学級となる資料を見せられてショックを受けており、適正な環境で教育を受けさせていただきたいと考えている。

24ページの資料で、平成30年度までの推計をしているが、4億円の改修をして統合するのであれば、もう少し先まで推計してはどうか。今の段階から統合して、10年後にまた統合です、みたいなのはどうなのかと思う。

○統合が現状で良いかということに関する私の考えは、教育の本来あるべき姿を考えていけば、自ずと決まってくるのではないかという気がしている。19ページの統合案については、良くまとめられているとは思いますが、より説得しやすくするためにも、丸、三角のどれかをもう少し強くし、数値化した方がいいのかなという気がする。項目毎にウエイト付けしたらいいのではないか。例えば耐震性を重視しているのであれば、100点満点、地理的条件は重視していないということであれば50点というような形にして数値化すれば、合計、総計で比較しやすくなるのではないかと思う。

要件のひとつに海拔を挙げているが、どのくらいの地震を想定しているのかが分からない。どのくらいの地震を想定していて、この海拔であれば問題ないということに記載されたらよいのではないか。

江見地区の幼保一元化について

○太海保育園で幼稚園の年齢に到達するまで園児を保育しているので、太海幼稚園に園児が入園して来なくて休園となっている。曾呂保育園や江見保育園と同じ年齢までの保育ならば、太海幼稚園も休園しなくてすむと思うが、太海保育園はいつから幼保一貫教育になったのか聞きたい。

○太海保育園は0歳から6歳まで保育するということだから、結局幼稚園に上がらずに保育園に残ってしまう。幼稚園に行けば2時で終わりだが、保育園に預けておけば、4時まで預かってくれる。それ以降は延長保育などでお金を払えばいいと。そういうことで、皆さん働いているから幼稚園に入れずに保育園に入れている。太海保育園だけが6歳まで預かってくれるということなのではないか。

○以前保育園でお世話になった際、仕事をしており夏休みなどが困るので、保育園に5歳までお願いできるか伺ったが、4歳までと言われたことがあり、幼稚園に入れた。そういう事実があったのでお話をしたい。

○鴨川市の幼保一元化は平成19年度からと言うが、なぜに江見、太海、曾呂は幼稚園が1年なのか。一元化する前に、まず、江見、太海、曾呂を2年教育にしてほしい。どうしてこ

の地区だけが、いつも一番最後なのか。

全体を通しての意見

○長狭学園のバス通学で、バス停で待っていた時、バスが手配されないでお子さんがバス停で20分待っていたことがあった。親は家から送り出して、その状況を知らないとか、出来立ての学校だったからなのか、外向きの研修会、他所からのお客様を招いてということが多かったとか、学校側は本当に子どものことを見ているのだろうかという声を聞いた。

あと、あの校舎は外から見て暑そうだと思う。ただのプレハブに見える。実際に入っていないので分からないが、実際のお母さんたちのこうだったという声は、先生方には届いていないこともあるかもしれないと思う。

○長狭学園には、スクールバスは無いのですよね。路線バスを使用している。バスの時刻によっては、お子さんの下校時間が1年生でも4時まで。次のバスまで学校で待っていなければならないとか聞いている。できれば生の声を聞きだしていただきたい。聞いていない声もあるのではないかな。

○検討委員会は、絶えず開いているのか。こういった情報は地区ではどうやって聞けばよいのか。各地区で誰に聞けばよいのか教えてほしい。

天津地区意見交換会意見概要（参加者 37 名）天津保育園の移転について

○保育園の移転は、非常に良いことだと思う。ただし、周りに駐車場がないので旧給食センターを更地にして、駐車場を作って、敷地内の道路をもう少し広げてはどうか。

○幼稚園施設を改修して、同一敷地内に幼稚園、保育園を残す案はなかったのか。幼稚園園庭に保育園を増築するか、2階建てに改修するなど、一体化施設として整備し、園庭が狭くなる分は給食センターを解体するなり、体育館脇の校庭を借りるとかなるべく幼稚園のスペースだけに収まるようにしたほうが良いのではないか。

○保育園の移転案はとても良い案だと思うが、駐車場が気になる。現在、小学校の送迎をする車のマナーが悪く、路上駐車など、危険を感じることもある。保育園が移転して来るとなると、歩いて帰る子どもたちと、小学校の送り迎え、幼稚園の送り迎え、保育園の時間帯が重なってくると思うので、駐車場の使い方や出入りのマナーについて検討していただきたい。

天津小湊地区の小学校適正配置について

○バス通学となると、小学生をどこで降ろすかが問題となる。今、朝8時の中学生用のバス停付近は、中学生送迎の便と高校生を父兄が送ってくる時間が重なっていて交通事故が心配される。だから、小学校の始業時間を15分ぐらいずらし、安全のために小湊の小学生を学校側に降ろしてはどうか。

○バス通学の件で、山崎ショップ前から旧給食センターの入口にかけてをロータリー状に改修し、そこで子どもたちがバスを降りるようにしてはどうか。路上駐車の問題も解消されるのではないか。

小湊地区意見交換会意見概要（参加者 54 名）天津小湊地区の小学校適正配置について

○天津地区で反対の意見がなかったのは天津小に統合する案だったからだ。小湊に統合するとなったら天津地区の方は反対するのではないか。小湊に統合したらどうか。

○意見交換会で反対だという形になった場合にどこで反映するのか。

○全国の小学校の約3割は、50人未満の規模であるので、小湊小学校は決して小さな学校ではない。この学校の環境は、幼保育一元化、学童保育すべて整い、理想的であるので、大きな学校に統合するのではなく、天津の子どもを10人小湊に入れるなど両立をしてほしい。

学校が無くなることになると、負担だけは平等に負担しているが、サービスが削られていく形になるので許せない。本日何人集まったか、反対の意見はどれだけいるのか決をとってほしい。

○町の人口が増えて活性化していくためには、買い物、医療、教育等の住みたいと思う条件が揃っている必要がある。学校が無くなると鴨川市の人口減少に拍車をかけることになる。だから規模そのものよりも、学校が無くなることが一番重要な問題であって、少子化対策等教育委員会はどうか考えているのか。

天津に統合するとなると、子どもたちは1時間早く起きなければならなくなり、当然通学時間は長くなり、勉強時間は少なくなったり、交通事故その他の危険性ははるかに増える。その辺をどうか考えているのか。

天津に通うとなると、親は1時間半早く起きないと子どもを送り出せなくなり、経済的にも損失が生じてくる。学校は、歩いて通える範囲にあった方がいいと考えるがその辺どうか考えているのか。

推計で平成30年度に2年生8人、3年生7人となっているが、あくまで予測の話であり、現在のフランスでは少子化対策が政府に取り上げられて子どもの人口が増えていることを知っているのか。その辺も研究し、この統計はこの先あてになるのかどうかも問題だと考えているのでお答え願いたい。

大学のゼミナールでは、一人の教授に10人かそこらの人数について勉強しているのが一番身についている。だから30人あったからいいとか、10人以下だから悪いという話は、教育に対する観点が全然違うのではないか。

○学校から配付されたプリントや回覧版にあった鴨川市学校適正規模検討委員会という名前では内容がわかりづらい。本日お母さんがたの参加が非常に少ないし、近所の人でも統合の話だというイメージを全く持っていない。だから、この名前を天津小と小湊小が統合するといったような名前にして、もう一度このような皆さんから意見を聴く場を設けていただければ、多くの意見が出てくると思うが、どうか。

○今日1回目という形で意見交換会があったが、是非2回、3回と細かくいろんな条件とかそういったものを重ねて時間をかけて決めていってほしい。

○検討委員会のメンバーは、どのような人で構成されているのか知らせてほしい。

○以前に中学校の統合があり、小湊地区としては痛みを味わっていることから、地域性を考えてもう少し時間をかけて検討していただきたい。それから、実際に係わるのは小学校に行く児童だと思うので、もう少し意見を聴き、適正規模検討委員会で報告するのではなく、議論をしていただきたい。そして、地域の方にも意見を言っていただき、適正規模検討委員会のメンバーの方に十分聴いていただいて、意見を反映させていただきたい。一方的に教育委員会の方で進めていくような感じが見受けられるので、もう少し民主的にやってはどうか。

○資料 22 ページの小湊小その他のところに、国庫補助を利用して耐震補強工事をすると当分の間統合することは難しくなると書いてあるが、当分の間とはどのくらいの期間なのか。

○できるだけ早く耐震化を進めてほしい。統合ある、なしに係わらず、非常に危険な校舎の中に入っているので、まず耐震化をできるだけ早く進めてもらいたい。

7人 8人で学習するよりも、統合して多くの中で磨きあいたいという話が出たが、現在、スクールバスで通っている職場に勤めており、通学にスクールバスを使った場合、実際には放課後は全く使えなくなっているし、朝も早くなっている。子どもたちにとっては、統合でスクールバスで遠くの学校に通うのが果たして良いのかどうかと考えると、学力を高めるといふようなことで考えると、やはり歩いていけるというのは一番指導していて良いと思う。帰りも非常に慌しい中でスクールバスに乗せなくちゃいけないという状況が想像できるので、落ち着いて学習させるというのは、放課後は困難になってくるので、歩いて通える学校を希望する。

小湊の地形を見てほしいが、突入トンネルが崩れた場合、陸の孤島になってしまうため、非常に不安がある。その辺も考慮してもらいたい。

○資料の1ページを見ると、耐震補強というのがあり、S値は小湊小学校は、0.37 と一番低い状態にあるが、それでも耐震化しないのは統合ありきだからなのか。

○学校の耐震補強を行い避難場所にすればいいのではないか。

○体育館よりも子供たちが一日の大半を勉強して過ごす校舎の耐震工事を最初に行っていただきたい。

○一学年の人数が少ないと競争が無いという説明であったが、人数が少なかったからハンデがあるとは思っていない。先生方に一生懸命育てていただいた。人数が少ないから教育に支障がある、学力に支障が出てくるということは全く無いと考えている。

○この会場に0歳児の保護者は来ていないように感じられる。また、この場所で発言できない方もたくさんいると思うので、それができない若い保護者にも意見の取りこぼしがでないように細かいところまでアンケートを取っていただくこともひとつの案だと思うが、どうか。

○仮に天津小に統合となった場合、平日の昼間に、小湊地区には小学生が全くいなくなる。そうすると小湊が空洞化になってしまい活性化されない。地域のよりどころとして、お年寄りや地域の方々が運動会を見に行くとか、いろいろなところで参加する機会が少なくなってしまう。お年寄りは子どもの声を聞くと元気になるとも言われているし、なんらかの形で子どもとお年寄りがつながっていけるような地域を作っていかなければ、この地区も活性化さ

れないと思うので、考慮していただきたい。

○スクールバスで通学となると、自分たちの目の届くところに子ども達がいらないということがとても心配である。何かあった場合、お年寄りが迎えに行くとかの対応もできなくなる。

現在、自分の子どもが、安房東中学校にバス通学しているが、乗り遅れたりすることもあったので、小学生には無理ではないかと感じている。

○中学校の統合にも携わったので、結果がどうなるか不安を感じている。中学校は思った以上に統合がスムーズに進んだが、小学校は厳しいと思う。地域性を十分考慮し、保護者の方達、地域の方達の気持ちを十分取り入れて先に進んで欲しい。統合するのであれば、校舎は小湊地区に、できれば新築で海からもう少し離れた場所をお願いしたい。

○実際安房東中学校の統合の時に、先ほどの説明にあったような児童の競争、切磋琢磨することによって向上心があがるというような話があったが、統合してどのような結果が出たのか確認していない。次回には、統合したことによるデメリット、メリットについて示していただければと考えているので、お願いしたい。

小湊小学校の今後を考える会意見概要（参加者 保護者 21 名）

○学校施設は、社会体育でいろいろ使っているが、仮に小学校が統合になったとしても使わせてもらえるのか。また、その場合には、耐震工事は行ってもらえるのか。

○もし、地震が起きて実入のトンネルが崩れた場合、どうやって迎えにいけばよいのか。具体的な検討はしているのか。（集中豪雨等による遮断の場合も含む）

○安全が確保されるまで学校で預かってくれるとは言っても、親の立場からすると一刻も早く子どもと会いたいと思う。その手段が確保されないうちに、統合の話だとかどンドン進んでしまうのはどうかと思う。トンネルを隔てたところから子どもを通わせるのと、そうでない家庭では心配の度合いが違う。その辺の手段を確立していただかないことには、心配のタネは絶えないと思う。

○ほかの地区では、交通手段に何かあった場合に迎えに行けないとかそういう例はあるのか。何かしら回り道をすれば、必ず学校に親がたどり着けるのか。

○小湊小を耐震補強する予定はないのか。

○子どもの人数の推移がどうこうと言って、今のところ予定はないと言っているが、こうしている間にも、耐震が完全ではない学校に私どもの子どもたちは通っている。そのことについては、どう考えているのか。

○8月21日には父兄の方の参加はごくわずかであった。本日、PTA対象ということで改めて集まっているが、PTAでは何の意見もまとまっていない。また、5年後10年後の小湊小学校について考えろと言われても、10年後の時には10年後にあったこの地域とか小湊小学校の人数とか、必要性などがあるので、その時にはその時のお母さん方や地域の人たちが話し合って決めればよいのではないかと。今、私たちがここで必要なのは、子ども達が安全で安心して過ごせる校舎、それがまず必要。自分たちの子どもを、何とか安全な校舎で一日過ごさせてあげたいと願うだけであり、統合の話には触れたくない。

○統合するしないは、いつまでに決める予定なのか。今話をして、何年後までに統合するかしないか決まるのか。

○前回の意見交換会に参加して、自分の下の子が複式学級の対象となる学年と知ったが、校舎が無くなるということがあって欲しくないなので、少しでも早く耐震補強をして、この学校でこのまま下の子も通わせたいと思っているところだが、複式学級というのは2学年で先生が1人と聞いている。必ずそうしなければいけないのか。少ない人数でも一人の先生が必要だが、そういうわけにはいかないのか。

○お母さん方に意見をどうぞと言っても、なかなか意見を言えるものではない。今回の会議の触れは統合が前提ではなく、5年後10年後の小湊小学校について考えるということであったが、実際、お母さん方が何を知りたいかと言えば、統合するかしないかだと思う。だから、もっとお母さん方が意見を言いやすい環境となるようお願いしたい。

○今回、参加を募ったが 20 数名の方しか参加されないので、ほかの保護者の方たちにアンケートを取りたいと思う。アンケートを取り、集計も出して、結果を全世帯に周知して、その結果を持って検討委員会の会議に臨みたいと思っている。その結果は、PTAの総意として持って行くわけではなく、賛成意見がどれくらいあるとか、このまま耐震改修をやってくれという意見などがあると思うので、そういう意見を持って行きたいと考えている。

○8月21日に参加した地域の方からも今度はいつやるのか聞いてきてくれと言われているので、その辺もよろしくお願ひしたい。

○ここの学校は、結構地域の方が関わってくださって、子ども達が育っていると思う。だから、親の意見だけではなく、地域の方の話も汲み取っていただきたい。例えば全世帯にご意見があれば伺いたいというお手紙を出していただくことはできないか。

○適正規模検討委員会ではほぼ第1案でまとまっているように聞いているが、旧小湊中学校校舎は7年、8年使用していない状況にあるが、昭和56年か57年に建築基準法が改正になっているとのことなので、旧小湊中学校の耐震の診断はしたのか。もしあればいつ頃か。仮にしてないとしても、旧小湊中校舎は2階建てなので、3階建ての小湊小校舎よりも耐震性は良いのではないか。

各学年今まで2学級ずつだったので、3学年6クラスの教室が最低でもあるのではないかなと思う。少しの増築をすれば、小湊小を耐震改修するよりは良いのではないかな。仮に耐震補強をしなくても改修したほうが、お金も少なくてすむのではないかなと思う。その辺りで3案ではない、第4案。旧小湊中を少し改修し、増築して小湊小の子ども達をそちらに入れる案。また、その他の案で天津と小湊の中間ぐらいに統合して新しい校舎を作るとか、例えば実入の高台あたりに建設出来れば、天津も小湊も条件一緒なんだよ、しょうがないということになるかもしれないが、なかなかそれは難しいかもしれないので、過去に検討された中で、第4案はなかったのか聞いておきたい。

○昭和62年の建築となると、耐震は大丈夫だという話になる。確かに水も電気も使ってなかったもので、改修は必要だと思ったが、そんなにかからないで改修できるとイメージしていた。また、増築面積が300㎡とは思わなかったが、統合して天津に行くのだったら、少し狭くても、施設が窮屈でも良いという意見もあるのではないかなと思い、検討の経緯を聞いてみた。

○中学校は単学級か。2クラスのイメージがあったが、1クラスなのか。

○実際、教室の数が少ないということで、ある程度検討委員会に案を出した段階で精査されていて、あえて第4案を出す必要はなかったということか。中学校改修を考えるとということはあるしなかったということで、第1回や第2回の会議では検討されていたということもないのか。

○スクールバスについて、この間、館山市のバス停でバスを待っている間に事故があったことがニュースとなっていた。そういうことを考えると心配になる。待っている間に、どこまで場所を確保するかということになるが、どのような考えをしているのか教えてほしい。

○小湊の子が、小湊小学校に通って、小湊で育つということは良いことではないかと思う。近所におじさん、おばさんがいて、小湊の子は、小湊で育てていいんじゃないか。本当に天津に行きたければ、天津に行っている子だっているわけだし、天津から小湊幼稚園に通園している子だっている。昔みたいに学区で線引きされているわけではないので、割と自由になっている。だから、統合するという意見に考えがいかない。

○資料の1ページを見ると、安房東中体育館は昭和44年に建築。平成24年度改修予定となっている。小湊小は同じ昭和44年7月の建築であるので、同じように改修予定としてもらっても良いのではないか。IS値もかなり低いので、強く言っていただいても良いような気がするがどうか。

○小湊小にいる方や小湊に住んでいる方のアンケートを取ると、耐震補強を早くやって欲しいという方がたくさんいると思うが、体育館を先にやるとか順位付けはどうなっているのか。

○学校施設は地域の避難場所になっている。そういうことも汲んで耐震補強を行ったりすることはないか。地域の避難場所として施設を利用する場合、学校がもし無くなったとしたら、コミュニティセンターとか、あっちの遠くまで移動しなければならなかったりとか思うと思うが、そういう面からも耐震補強はやるのか、やらないのかだけでも答えていただきたい。教育委員会だけで答えを出せる問題ではないかもしれないが、そうしたことを考慮していただけないか。

○みんな1日も早く、耐震補強をやってもらいたいと思っているはず。耐震の問題がクリアできれば、何の問題もないと思う。良い学校だと思う。

○資料の表を見ても小湊小学校が一番IS値が低く、一番危険なのに、先に安房東中の体育館などになってしまうのは、やはり統合することを考えてやってくれないのかと、こちらが捉えてしまう。もう少し誠意を見せて、早急な対応をしていただきたい。

○統合するしないに関係なく、耐震補強はして欲しい。もし統合してしまっても、まちの人達が避難できる場所はほかにはないので、そういう場所のことも考えて、耐震補強は至急考えていただきたい。

○アンケートの結果で反対意見が大多数を占めていた、そういう結果だった場合でも、統合するというふうになってしまうのか。

○耐震補強を平成27年度までにした場合、それから約10年は統合が無理みたいな説明があった。だから、まず子ども達の安全とか、安心して過ごせる学校づくりを優先して、耐震補強を行い、それから10年後に向けて統合した方がいいとか、しない方がいいとか、そのように考えていくことはできないか。

○ずっと小湊で育っているので、学校は絶対に無くしてほしくないという意見と、耐震補強は早くして欲しいと思う。地域の人達も、運動会やバザーとかみんなで参加しているものが学校が無くなってしまえば、参加出来なくなったりとか、寂しい思いをしたりで、どんどん小湊が廃れていってしまう。そういうのは嫌だと思うので、耐震補強を早くしてもらって、この学校が残る方向であってほしい。

○小さい学校には小さい学校なりにいろいろ良い面もあるし、今、無理して統合することも無いのかと思う。校舎等の問題もいろいろあるので、今は統合の問題よりも、環境の方に力を入れていってもらいたい。

○いろいろな意見を聞いたが、まだ子どもが産まれたばかりで、先の話が実感できない部分がある。実際問題、自分の子どもがあと5年くらいで、小学校に入った時に、8人、9人くらいの人数になっている段階ですので、今はどちらがいいのかまだ判断しかねている。皆さんの意見を聞いたが、どちらに転んでも良いメリットはあるだろうし、デメリットもあるだろう。そうした部分で現段階ではまだ何とも言えない。ただ、耐震補強に関しては、やはり早く対応して欲しいし、考えてほしい。

○アンケートの関係だが、この資料をこのままつけても、江見地区のことは直接私どもとは関係ないという話で、ほかの地区の小学校がどうなってもあまり関係ないという考えの方が多と思う。だから、紙1枚に要約して、今こういう状況なので、天津とこういうことを検討しているというようなことを簡単に説明しないと、アンケートをやらうとしても、何のことだかわからないのではないか。

あまり難しいことは分からないという方も多と思うので、その辺をうまく分かりやすく説明していただいて、アンケートするようにしてもらいたい。

(現状維持案)

天津小湊地区小学校適正配置検討表

項目		案4 統合しないで旧小湊中施設を活用する場合(小湊小施設を活用する場合との比較)	
		旧小湊中施設を活用する場合	小湊小施設を活用する場合
検討項目	施設の耐震性等	○ (備考) 校舎、屋内運動場の耐震性はあるが、増築による大規模改修が必要 校舎 S62.3建築 鉄筋コンクリート造2階 989㎡ 屋内運動場 H7.3建築 鉄筋コンクリート造2階 1階334㎡(武道場)、2階597㎡	△ (備考) 校舎及び屋内運動場の耐震補強工事が必要併せて大規模改修が必要 校舎 S44.7建築 鉄筋コンクリート造3階 2,134㎡ H3大規模改修実施 屋内運動場 S54.3建築 鉄筋コンクリート造2階 1,054㎡
	部屋数等	△ (備考) 普通教室4、特別支援教室1、図書室(41㎡)、技術室、家庭科室、理科室、音楽室、パソコン室 ※技術室、家庭科室、理科室は別棟(S37建築)を使用 普通教室2、特別支援教室1が不足し、増築が必要	○ (備考) 普通教室6、特別支援教室2、図書室(76㎡)、図工室、家庭科室、理科室、音楽室、パソコン室、多目的2室
	地理的条件	(備考) 海拔5.7m 2階建て	(備考) 海拔5.7m 3階建て
	その他	・現在音楽室を学童保育室として使用しているため、移転が必要となる。 ・施設規模が小学校施設よりもかなり小規模となる。 ・現在、旧中学校体育館は社会体育施設(小湊スポーツ館)として利用されているため、昼間の利用ができなくなる。	・耐震補強等の補助制度を活用できる。